

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」祈願集

(四旬節第二金曜日)

いつくしみ深い父よ、心身を傷つけられた被害者の苦しみや痛みを受けとめようとしてこなかったわたしたちの至らなさをおゆるしてください。被害者の傷がいやされるために、また被害を受ける人がでないように、遅まきながらも教会共同体として取り組もうとしているわたしたちに、勇気と力をお与えください。

「性虐待被害者のための祈りと償いの日」にあたって祈ります。被害者とその家族に大いなるいやしと慰めがあたえられますように。また、教会がその回復と和解の歩みに真摯に向き合い、ふさわしく寄り添っていくことができますように。

すべてをご存知の神様の愛の中で、加害者が回心し、謝罪と償いを行い、被害者が癒されますように。

いつくしみ深い神よ、性虐待を受けて心も体も深く傷つき、誰にも相談できずに苦しみを抱えている人々と、すべての性虐待を受けた人々、そのご家族のために祈ります。教会に集うわたしたち一人一人が、被害者の方々の悲しみと苦しみを受け止め、共に歩むことができますように。また、人間の弱さに勝てず罪を犯してしまった人が、心から反省し、被害者にお詫びすることができますように導いて下さい。

いつくしみ深い神よ、性暴力の被害に遭われた方、今もなお被害を受けている方の心と体をお救いください。そして、今後、性暴力が無くなりますようにお守りください。

いつくしみ深い神よ、心と体に大きな傷を受けた、すべての性虐待被害者のために祈ります。神の愛により心の痛みが和らげられ、心安らかに日々の生活を送ることができますように、あなたの特別な力をお与え下さい。

人間の弱さのために「性虐待被害」を引き起こしてしまった聖職者のために祈ります。自らの罪の深さに目覚め、真の回心によって、このような事を二度と繰り返さないよう、あなたの大きな愛でお導き下さい。

父である神よ、性虐待によって心と体に深い傷を刻まれた人々のために祈ります。この人々が体験した痛みと苦しみを理解するようつとめ、キリストになって隣人に仕えることを忘れずに神の国の完成に向かって歩んで行くことができますように。

いつくしみ深い神よ、性的な被害を受け、心と体に大きな傷を持っているすべての人のために祈ります。あらゆるものを通して示される神の愛に触れ、心の安らぎを得ることができますように。

教皇様は、教会が虐待の加害者を秘匿（ひとく）し、被害者の痛みを無視してきたことに神のゆるしを願っておられます。わたしたちもこの教皇様の意向に従い、誠実にこの問題に取り組んでいくことができますように。

教会の中で性虐待の被害を受けた方のために祈ります。教会が弱い立場に置かれている人々を守るといふ本来の姿に立ち返り、いかなる暴力も生まない教会と社会の実現のために努力していくことができますように。

カトリック横浜教区
子どもと女性の人権を守るデスク

※教皇フランシスコは、全世界の司教団に向けて、「性虐待被害者のための祈りと償いの日」を設けるよう通達しました。日本の司教団はこの呼びかけに応え、この日を「四旬節第二金曜日」と定めています。
横浜教区では、教区内から寄せられた祈りを集めたこの「祈願集」をもって、小教区や修道院等で祈りを捧げるよう勧めています。各共同体で共同祈願や十字架の道行きなどと合せて自由に使用してください。